

授業評価アンケート結果から見える福岡教育大学の授業改善状況 (2025年度前期)

授業は、学生の皆さんと教員の双方の努力と協力によってつくり上げていくものです。

福岡教育大学は、授業方法・内容の改善を図り、学生の皆さんにとってより良い学習環境となるよう取り組みます。

授業評価アンケート結果

※学生回答率 54.13% ※以下は回答者内の割合です。



総合的に満足した
(やや満足を含む)



関心・意欲を高めるものだった
(ややそう思うを含む)



進行速度は適切だった
(ちょうど良かった)



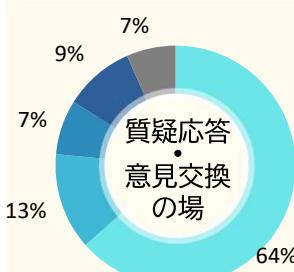
内容を十分、理解・修得できた
(ややそう思うを含む)



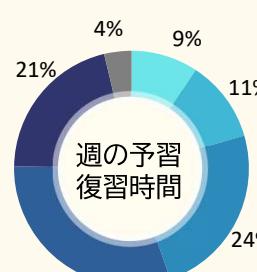
教員を目指す上で有意義だった
(ややそう思うを含む)



主体的に取り組むことができた
(ややそう思うを含む)



- どちらも設けられていた
- 教員との質疑応答の場のみ設けられていた
- 学生同士の意見交換の場のみ設けられていた
- どちらも設けられていなかった
- 無回答／わからない



- 180分以上
- 120分以上180分未満
- 60分以上120分未満
- 30分以上60分未満
- ほとんどしていない
- 無回答／わからない

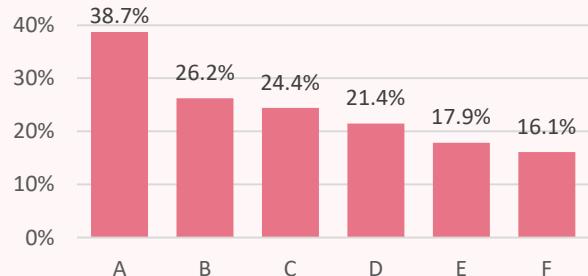
教員が取り入れたいと思う改善案

- A 授業時間外の学習の指示を明確にする
- B 授業内容の精選を行う
- C 授業の進行速度を調整する
- D 話す内容をわかりやすくするように工夫する
- E 授業内容の難易度を調整する
- F 授業資料の配付の方法や内容を工夫する

上記以外に…

- 意見の交換ができる機会を増やす
- 次期学習指導要領の論点整理など、教育課程の新たな情報を反映させる

※いくつかの選択肢から教員が選んだ割合の多かった改善案を挙げています。(複数選択あり)



- 教科書以外の補充内容を検討する
(例: 授業補助教材の作成を進める)
- 生成AIに関する注意点を提示する

教員の自評 (一例)

- 授業中の意見交流において、学生の意見をワードクラウドとして可視化した。学生の意見を共有・整理する支援となり、相互理解を促進するとともに、授業内容の理解深化にも寄与したと考えられる。
- 授業時間外の学習時間が少ない学生が多いため、演習課題の充実を図り、受講生各自が自分のペースで取り組めるよう検討したい。

【FD(ファカルティ・ディベロップメント)って?】

あまり聞きなれないという方もいるのではないでしょうか。FDの始まりは米国で、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」とされています。このアンケートはその一つです。

【お問い合わせ】

福岡教育大学 教育支援課教務企画室
TEL : 0940-35-1287
Email : kyoumu-1@fukuoka-edu.ac.jp
URL : <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>